
VISUALIZE STARLIGHT

～環境音のビジュアライズと動作によるインタラクションの関係性に関する研究～

城戸雄大
東京工科大学メディア学部
m0112158f8@edu.teu.ac.jp

菊池 司
東京工科大学
kikuchi@stf.teu.ac.jp



インスタレーション、2015年

【はじめに】

インスタレーションとは、展示する環境と有機的に関連づけることによって構想し、その総体を一つの芸術的空間として呈示すること。一部のインスタレーションはメディアアートとして扱われ、親子連れの多いアミューズメントパークでも多く使われるようになった。しかし、「展示する環境と有機的に関連づける」という定義は子どもには理解し難い。そこで、子どもが遊ぶことで学習できる教育的要素と、大人にも楽しめる娯楽的要素を同時に体験できるインスタレーションを研究しようと考えた。

【研究について】

環境音に規則性はなく、その瞬間の唯一無二の音を奏でている。この環境音を可視化することで、今まで聞いていた音が目に見える形で顕在化する[1]。また、被験者からの信号により反応を起し、自らがコンテンツの一部となる感覚を与えることが出来る。この双方向性の関わりを持たせることで、よりコンテンツを身近に感じてもらえることができ、エンターテインメントとしてのインス

タレーションの有用性を示すことができる。

【作品内容】

環境音のビジュアライズには星空の瞬きで表現することとした。普段耳に入ってくる規則性のない、唯一無二の音を奏で続ける。それを可視化することで、唯一無二の映像を作り出すことが可能となる。

インタラクションには、動作により星座を生成することができるようにした。ビジュアライズの要素を持った映像に他方面からのインタラクションを身体を動かすことで与えられるようにした。自らが関わることによって、身をもって星空に密接な関わりを持つ感覚を与えられるのではないかと考えた。

【参考文献】

[1] センシング・ストリームズ～不可視、不可聴～
http://www.rhizomatiks.com/archive/sensing_streams/,
Ryuichi Sakamoto, Daito Manabe (2014)